

● **内政**

**1 政府、6月の政府支出を説明**

財務・国家計画省は、2024年6月に227億クワチャ（約1,400億円）の政府支出を実施したと表明した。そのうち約6割にあたる138億クワチャが国内・対外債務の返済に充てられた。また、40億クワチャが公務員の給与に充てられるとともに、18億クワチャが社会的弱者のための給付金事業に利用された。（7月8日付 News Diggers）

**2 金融インテリジェンスセンター、政府の不透明な契約を非難するとともに、多数のマネーロンダリング疑惑を検知**

金融インテリジェンスセンター(FIC)は、2023年に政府が結んだ契約・取引の不適切な事項に関する報告書を発表した。設立まもなく契約遂行能力証明のない企業の巨額契約の受注、ザンビア人の所有実態がない企業の契約受注、アジアへのマネーロンダリング疑惑が持たれる不適切な資金移動が主要な項目として挙げられる。また、同レポートの中では、2022年と比較して133%増となるマネーロンダリング、汚職、脱税が検知されており、一部は法執行機関へ連携されたとしている。（7月9日付 News Diggers）

**3 国民保険管理局、医療従事者の不正を調査**

国民保険管理局（NHIMA）は、医療従事者が不当に利益を得るために制度を悪用しているとし、調査するとともに警告を発した。また、NHIMA事務局は給付パッケージが手厚すぎるとし、一部保険制度の見直しについても検討すると表した。（7月9日付 News Diggers）

**4 財相、現政権下での債務増加について説明**

ムソコトワネ財務・国家計画大臣は、ヒチレマ政権が政権を担って以降、約3年のうちに対外債

務は130.4億ドルから147億ドルに増加し、国内債務は1,940億クワチャから2,250億クワチャに増加したと説明した。増加した債務は低利な債務であり、インフレ率などを考慮すると実際の借入額は減少しているとの由。（7月9日付 News Diggers）

**5 副大統領、干ばつ対策支援は全数監査と表明**

ナルマンゴ副大統領は、公開フォーラムの場で、政府の透明性への取組を強調し、特に干ばつの緊急支援資金等については全数監査対象とし、不正使用は懲戒解雇や禁固刑などの厳しい結果を招く可能性がある」と表した。（7月12日付 News Diggers）

**6 国際 NGO、FIC 報告書の発表を受けて声明**

国際 NGO であるトランスペアレンシー・インターナショナル・ザンビアの代表は、項2で触れた FIC の報告書について、UPND 政府の汚職対策が進展せず前政権の問題を引き継いでいるとし、反汚職活動を妨害する公務員の更迭なども含めた断固たる対応を求めた。また、カジノなどのギャンブル施設がマネーロンダリングなどの不正の温床になっているとし、政府に対し早急な法規制を求めた。（7月15日付 News Diggers）

**7 反汚職委員会を巡る混迷**

反汚職委員会（ACC）委員の1名は、現在のACCの体制は機能不全に陥っており、制度改革が必要であると評した。その後も国際 NGO や各界から批判が続いた結果、ヒチレマ大統領は7月16日に反汚職委員会の事務局長を呼び出し、解任を告げた。また、18日には、反汚職委員会の理事会についても全メンバーの解任を決定した。（7月複数日付 News Diggers）

**8 大統領、閣僚の交代を指示**

7月19日および21日、ヒチレマ大統領は閣僚の交代を指示した。エネルギー大臣にはチコテ水産・畜産大臣を任じ、水産・畜産大臣についてはムポシャ・エネルギー大臣を任じた。また、保健大臣にはムチマ国土・天然資源大臣を任じ、国土・天然資源大臣についてはマセボ保健大臣を任じた。  
(7月19日、21日付 大統領府プレスリリース)

### 9 反汚職委員会、閣僚数名と政府高官を調査中

反汚職委員会 (ACC) 副局長は、ACC は現在閣僚級ほか複数の政府高官を汚職関与の疑いで捜査していると表した。(7月26日付 News Diggers)

### 10 ザンビアの脆弱な徴税体制の改善が必要

ザンビア歳入庁 (ZRA) 長官は会合の場で、777の納税者が全税収の80%を占めている現状や、6,000社を超える鉱山企業が存在する中、6社のみが納税をしている現状について、税コンプライアンスの低さと同時に ZRA の能力向上の必要性を訴えた。同会合で IMF ザンビア常駐代表からは、債務再編では債務が免除されたわけではなく、債務返済を果たすために歳入を増やす必要があり、ザンビアが累進課税政策を採用する必要性を強調した。(7月26日、30日付 News Diggers)

## ● 外交・対外関係

### 1 外相、トルコ外務省関係者と会談

7月4日、ハインベ外相はトルコ・アンカラを訪問し、関係者と会談した。会談の中では教育分野に関する協力強化について話し合わせ、トルコの教育機関のザンビア進出に関する MOU が署名された。(7月4日付外務・国際協力省プレスリリース)

### 2 外相、SADC 政治・防衛・安全保障オーガントロイカ閣僚会議を主催

7月11日から12日にかけて、ハインベ外相は

南部アフリカ開発共同体 (SADC) 政治・防衛・安全保障オーガントロイカ議長国としての立場で同オーガントロイカ閣僚会議を開催した。会議の中では、各種選挙監視ミッションが成功裡に監視を完了していることや SADC 地域内での治安安定化について議論された。(7月12日付 Daily Mail)

### 3 大統領、イタリア外務・国際協力省局長と会談

7月11日、ヒチレマ大統領は、当地訪問中のイタリア外務・国際協力省開発協力局長と会談した。会談の中では、ザンビアでの干ばつ対策に赤十字経由で50万ユーロ、ロビト回廊のプロジェクト3億2千万ユーロを投じることが表明され、気候変動対策に更なる支援の用意があることが表された。(7月12日付 News Diggers)

### 4 観光相、地域環境協定に署名

7月18日、シクンバ観光相はジンバブエ・ハラレにて、ジンバブエ・モザンビーク・ザンビア間での地域環境協定にヒチレマ大統領の代理として出席し、ムナンガグワ・ジンバブエ大統領、ニューシ・モザンビーク大統領とともに協定に署名した。ZIMOZA-TFCA s と称されるこの協定は3か国にまたがる地域における自然資源保護及び住民の生活改善をターゲットとしており、今後の進展が期待される。(7月19日付 外務・国際協力省プレスリリース)

### 5 外相、AU 閣僚会合へ出席

7月18日から19日にかけて、ハインベ外相はガーナ・アクラで開催された AU 閣僚会合へ出席した。会合の中でハインベ外相は気候変動に対応するための施策への資源の優先投入、教育への投資の拡大などを訴えた。(7月19日付 外務・国際協力省プレスリリース)

(了)